

Annals of Uonuma Kikan Byoin

vol.5 2020.4-2021.3



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院

目次

巻頭言

魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一

診療部

・ 総合診療科	・ ・ ・ ・ 1
・ 循環器内科	・ ・ ・ ・ 2
・ 内分泌・代謝内科	・ ・ ・ ・ 4
・ 血液内科	・ ・ ・ ・ 5
・ 腎臓内科（リウマチ科・膠原病科）	・ ・ ・ ・ 8
・ 呼吸器・感染症内科	・ ・ ・ ・ 9
・ 消化器内科	・ ・ ・ ・ 11
・ 神経内科	・ ・ ・ ・ 16
・ 精神科	・ ・ ・ ・ 17
・ 小児科	・ ・ ・ ・ 18
・ 消化器外科・一般外科（乳腺外科）	・ ・ ・ ・ 19
・ 呼吸器外科	・ ・ ・ ・ 21
・ 整形外科	・ ・ ・ ・ 22
・ 脳神経外科	・ ・ ・ ・ 24
・ 皮膚科	・ ・ ・ ・ 26
・ 泌尿器科	・ ・ ・ ・ 28
・ 耳鼻咽喉科	・ ・ ・ ・ 29
・ 産婦人科	・ ・ ・ ・ 30
・ 放射線治療科	・ ・ ・ ・ 31
・ 麻酔科	・ ・ ・ ・ 32
・ 歯科口腔外科	・ ・ ・ ・ 33
・ 病理診断科	・ ・ ・ ・ 35

医療安全管理室

・ ・ ・ ・ 36

薬剤部

・ ・ ・ ・ 37

医療技術部

・ 放射線技術科	・ ・ ・ ・ 38
・ 臨床検査科	・ ・ ・ ・ 39
・ リハビリテーション技術科	・ ・ ・ ・ 40
・ 栄養管理科	・ ・ ・ ・ 42

UKB リサーチ 2020

・ ・ ・ ・ 43

院内研修会

・ ・ ・ ・ 45

巻 頭 言

令和2年度は、まさに新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応に、日本中、世界中が振り回された1年でした。当院も例外ではなく、魚沼医療圏唯一の感染症指定医療機関として、職員の皆さんには、直接 COVID-19 患者さんを担当する医師、看護師、医療技術部の皆さんのみではなく、すべての職種の皆さんに、院内で感染を拡大させない感染対策の徹底とともに、COVID-19 対応という状況の中でも、当院の使命である高度医療、救急医療を提供するという役割を果たすために、多大なるご負担をおかけした（現在もおかけしている）と思っています。あらためて厚く御礼申し上げます。

このような災害にも匹敵するコロナ禍では、各種学会、研究会、講演会等は、その多くが中止またはオンラインでの開催となり、当院のもう一つの目標である、教育、研究、人材育成においては、発表する機会が著しく制限された1年だったと思います。また、当院が行ってきた様々な市民公開講座や各種研修会等も、外部関係者や住民の皆さんの参加による開催はなかなか難しい1年でした。幸い、院内で毎年度開催している各部門からの応募による UKB リサーチは、例年通り開催することができましたが、診療における負担の増加により、思うように研究が進められなかった1年だったといっても過言ではないと思います。

そのような中でも、今回教育・研究業績を提出いただいた皆さんには、そのご努力にあらためて敬意を表したいと思います。例年に比べて多少ボリュームは小さいかもしれませんが、皆さんのおかげで、この度、令和2年度の業績集 *Annals of Uonuma Kikan Byoin vol.5* を刊行することができました。コロナ禍の中での各診療科、各部門の頑張りに、他診療科、部門の皆さんも、ぜひ目を通していただければと思います。

まだまだ大変な日々が続くと思いますが、スタッフ全員の益々の活躍を期待します。

令和3年10月

一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院 病院長 鈴木 榮一

論文(原著)

Kabasawa K, Tanaka J, Nakamura K, Ito Y, Yoshida K, Takachi R, Sawada N, Tsugane S, Narita I.
Study design and baseline profiles of participants in the Uonuma CKD Cohort Study in Niigata, Japan.
J Epidemiol 30(4): 170-176, 2020.

Kabasawa K, Tanaka J, Ito Y, Yoshida K, Kitamura K, Tsugane S, Nakamura K, Narita I.
Associations of physical activity in rural life with happiness and ikigai: a cross-sectional study.
Humanit Soc Sci Commun 8(46): 1-10, 2021.

学会・研究会・講演会

小屋俊之、上野浩志、長谷川隆志、田中純太、菊地利明、荒川正昭.

アスリートにおける気管支喘息.

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会(シンポジウム)

(神戸 (Web), 2020 年 9 月 20 日～22 日)

田中純太、山澤文裕.

スポーツと呼吸器診療.

第 60 回日本呼吸器学会学術講演会(シンポジウム)

(神戸 (Web), 2020 年 9 月 20 日～22 日)

著書など

笠井督雄ほか

心筋 SPECT の読影とレポーティング.

心臓画像診断ポケットマニュアル, 28-33 頁, 日本メジフィジックス, 2020. (補遺)

笠井督雄ほか

心不全.

心臓画像診断ポケットマニュアル, 52-53 頁, 日本メジフィジックス, 2020. (補遺)

笠井督雄ほか

ガイドラインとエビデンスの考え方.

心臓画像診断ポケットマニュアル, 58-60 頁, 日本メジフィジックス, 2020. (補遺)

学会・研究会・講演会

笠井督雄.

心不全勉強会

小野薬品工業 社内勉強会 (口演)

(南魚沼, 2020 年 5 月 14 日)

笠井督雄.

心不全～基礎から SGLT2 阻害剤の活用まで.

アストラゼネカ 社内勉強会 (口演)

(南魚沼, 2020 年 7 月 14 日)

笠井督雄.

HCN チャネル遮断薬の適正使用を考える.

Episode Discussion Meeting (コメンテーター)

(南魚沼, 2020 年 8 月 4 日)

笠井督雄.

製品プレゼンテーションスキルアップ研修会

興和株式会社 社内研修会 (口演)

(南魚沼, 2020 年 10 月 12 日)

笠井督雄.

糖尿病と心不全～SGLT2 阻害剤による心腎保護の意義～

明日から活かせる心不全治療セミナー (パネラー)

(南魚沼, 2020 年 12 月 9 日)

笠井督雄.

レートコントロールによる心不全の新たな治療戦略.

Episode Discussion Meeting in 中越 (ディスカッサー)

(南魚沼, 2020年12月16日)

笠井督雄.

虚血評価における心臓核医学の展望～個々の症例でエビデンスを活かす.

第30回日本心臓核医学会 (口演)

(Web, 2020年12月19日)

論文(症例報告)

Ohara N, Kobayashi M, Tuchida M, Koda R, Yoneoka Y, Iino N.

Isolated adrenocorticotrophic hormone deficiency and primary hypothyroidism in a patient undergoing long-term hemodialysis: A case report and literature review.

Am J Case Rep 21: e922376-1-8, 2020.

学会・研究会・講演会

櫻井祐貴、小原伸雅.

比較的若年に発症し、切断に至った自己管理困難な糖尿病性足病変の1例.

第148回日本内科学会信越地方会 (口述)

(松本, 2020年10月4日)

櫻井祐貴、小原伸雅.

ペンプロリズマブ使用後に血糖コントロール悪化を来した2型糖尿病の一例.

第58回日本糖尿病学会関東甲信越地方会 (口述)

(Web, 2021年1月30日~31日)

論文(原著)

Wada H, Honda G, Kawano N, Uchiyama T, Kawasugi K, Madoiwa S, Takezako N, Suzuki K, Seki Y, Ikezoe T, Iba T, Okamoto K.

Severe Antithrombin Deficiency May be Associated With a High Risk of Pathological Progression of DIC With Suppressed Fibrinolysis.

Clin Appl Thromb Hemost 26: 1-9, 2020.

関義信.

日本での公費負担制度取得に苦慮した HIV 垂直感染の 1 留学生症例.

日本エイズ学会誌 22(1): 42-45, 2020. (補遺)

論文(総説)

関義信.

がん診療における血球減少に対する漢方治療.

漢方と最新治療 29(2): 81-86, 2020.

関義信.

後天性血友病 A の診断・治療とその問題点.

日本内科学会雑誌 109(7): 1370-1377, 2020.

論文(症例報告)

Uemura S, Kobayashi H, Seki Y, Okoshi Y, Sone H, Nomoto N.

Successful treatment with edoxaban for disseminated intravascular coagulation in a case of aortic dissection complicated with immune thrombocytopenic purpura.

Intern Med DOI: 10.2169/internalmedicine.4255-19, 2020.

Seki Y, Nagano O, Koda R, Morita S, Hasegawa G.

Pathological findings suggesting vascular endothelial damage in multiple organs in chronic myelogenous leukemia patients on long-term tyrosine kinase inhibitor therapy.

Int J Hematol 112(4): 584-591, 2020.

著書など

関義信.

がん診療における漢方治療の目的.

JASCC がんサポーターティブケアのための漢方活用ガイド, 12-16 頁, 南山堂, 2020.

関義信.

味覚障害.

JASCC がんサポーターティブケアのための漢方活用ガイド, 71-76 頁, 南山堂, 2020.

関義信.

血球減少.

JASCC がんサポーターティブケアのための漢方活用ガイド, 113-118 頁, 南山堂, 2020.

関義信.

十全大補湯.

JASCC がんサポーターティブケアのための漢方活用ガイド, 126-134 頁, 南山堂, 2020.

学会・研究会・講演会

Seki Y, Nagano O.

A long term survival chronic DIC with ITP treated with low dose steroid.

ISTH2020 (ポスター)

(Milano, Italy, 2020 年 7 月 12 日～14 日)

関義信、長野央希.

ITP を合併し少量ステロイドで長期生存している慢性 DIC 症例.

第 42 回日本血栓止血学会学術総会 (口演)

(大阪, 2020 年 6 月 18 日～20 日)

関義信.

今さら聞けない後天性血友病 A の診断・検査・治療.

武田薬品 Web 全国講演会 (講演)

(Web, 2020 年 8 月 6 日)

Seki Y, Nagano O, Kaihatsu A.

Long remission of ascites and thrombocytopenia of a TAFRO syndrome after rituximab and eltrombopag.

第 82 回日本血液学会学術集会 (ポスター)

(Web, 2020 年 10 月 10 日～11 月 8 日)

関義信.

血友病診療連携の現状と課題.

上越血友病研究会 (講演)

(上越市, 2020 年 10 月 22 日)

関義信.

DIC/TMA.

第8回日本血栓止血学会教育セミナー（講演）

（Web，2020年11月7日～8日）

関義信.

悪性腫瘍に対峙する際のDIC.

群馬血栓止血研究会（講演）

（Web，2020年11月12日）

関義信.

ITP治療の現状とピットフォールのご紹介.

ノバルティス Web 全国講演会（講演）

（Web，2020年12月21日）

関義信.

医療の谷間にマルクをするお医者さんがやってきた.

自治医科大学新潟県人会奨励賞受賞講演（講演）

（Web，2021年1月9日）

関義信.

血液搬送装置 ATR を活用したへき地・離島を含む広域ブラッドローテーションにより、新潟県での血液製剤有効利用を図る研究.

厚生労働省令和2年度 第1回適正使用調査会（講演）

（Web，2021年1月22日）

関義信.

血友病の診断と治療については是非抑えておきたいこと.

血液疾患セミナー in 甲信越（講演）

（Web，2021年2月8日）

関義信.

血友病診療の最近の話題と血友病 B 個別化治療におけるアルブミン融合製剤の有用性.

血友病全国講演会（講演）

（Web，2021年3月4日）

研究費(その他)

関義信：厚生労働省 血液製剤使用適正化方策調査研究事業 2020～2021年度

血液搬送装置 ATR を活用したへき地・離島を含む広域ブラッドローテーションにより、新潟県での血液製剤有効利用を図る研究

受賞

関義信：奨励賞金賞

医療の谷間にマルクをするお医者さんがやってきた.

（2021自治医科大学新潟県人会，2021年1月）

腎臓内科(リウマチ科・膠原病科)

論文(原著)

Miyazaki S, Iino N, Koda R, Narita I, Kaneko Y.

Brain-derived neurotrophic factor is associated with sarcopenia and frailty in Japanese hemodialysis patients.
Geriatr Gerontol Int 21(1): 27-33, 2021.

論文(症例報告)

Ryo Koda, Masafumi Tsuchida, Noriaki Iino, Go Hasegawa, Ichiei Narita.

Glomerular involvement in disseminated nontuberculous mycobacterium infection.
Kidney International 98(4): 1055, 2020.

Ryo Koda, Satoru Miyazaki, Noriaki Iino, Yo Sato, Kenichiro Hirano, Eiji Sunami, Shinichi Kosugi, Tsutomu Kanefuji, Akira Ogose, Ichiei Narita.

Vitamin D Deficiency-induced Osteomalacia in a Patient with Anorexia Nervosa.
Internal Medicine 60(11): 1731-1736, 2021.

学会・研究会・講演会

甲田亮, 宮崎慧, 飯野則昭, 高橋直生, 今井直史, 成田一衛.

新規疾患概念 Tubulointerstitial Nephritis with IgM-Positive Plasma Cells (IgMPC-TIN) は自己免疫性疾患か?
2 症例からの検討.

第 50 回日本腎臓学会東部学術大会 (ポスター)

(筑波(web), 2020 年 9 月 26 日)

甲田亮, 宮崎慧, 飯野則昭, 大橋さとみ, 山口征吾, 成田一衛.

Klebsiella pneumoniae 肺炎に横紋筋融解症、急性腎不全を合併し治療経過中に薬剤性と考えられる急性尿細管間質性腎炎を発症した 1 例.

第 65 回日本透析学会学術総会 (ポスター)

(大阪(web), 2020 年 11 月 2 日)

甲田亮.

日常臨床で出会った印象深いリン代謝異常症.

第 57 回新潟腎カンファランス (口演)

(新潟, 2021 年 2 月 25 日)

論文(原著)

Nakata, K; Sugi, T; Kuroda, K; Yoshizawa, K; Takada, T; Tazawa, R; Ueda, T; Aoki, A; Abe, M; Tatsumi, K; Eda, R; Kondoh, S; Morimoto, K; Tanaka, T; Yamaguchi, E; Takahashi, A; Oda, M; Ishii, H; Izumi, S; Sugiyama, H; Nakagawa, A; Tomii, K; Suzuki, M; Konno, S; Ohkochi, S; Hirano, T; Handa, T; Hirai, T; Inoue, Y; Arai, T; Asakawa, K; Sakagami, T; Tanaka, T; Mikami, A; Kitamura, N.

Validation of a New Serum Granulocyte/Macrophage Colony-Stimulating Factor Autoantibody Testing Kit.
ERJ Open Research 00259-2019, 2020.

K Asakawa, K Yoshizawa, A Aoki, Y Kimura, T Tanaka, K Ohashi, M Hayashi, T Kikuchi, S Sato, T Takada.
Comparison of cytokine profiles between anti-ARS antibody-positive interstitial lung diseases and those with anti-MDA-5 antibodies.

Clin Rheumatol 39(7): 2171-2178, 2020.

Sakaue S, Yamaguchi E, Inoue Y, Takahashi M, Hirata J, Suzuki K, Ito S, Arai T, Hirose M, Tanino Y, Nikaido T, Ichiwata T, Ohkouchi S, Hirano T, Takada T, Miyawaki S, Dofuku S, Maeda Y, Nii T, Kishikawa T, Ogawa K, Masuda T, Yamamoto K, Sonehara K, Tazawa R, Morimoto K, Takaki M, Konno S, Suzuki M, Tomii K, Nakagawa A, Handa T, Tanizawa K, Ishii H, Ishida M, Kato T, Takeda N, Yokomura K, Matsui T, Watanabe M, Inoue H, Imaizumi K, Goto Y, Kida H, Fujisawa T, Suda T, Yamada T, Satake Y, Ibata H, Hizawa N, Mochizuki H, Kumanogoh A, Matsuda F, Nakata K, Hirota T, Tamari M, Okada Y.

Genetic determinants of risk in autoimmune pulmonary alveolar proteinosis.
Nat Commun 12(1): 1032, 2021.

論文(症例報告)

S Sato; K Akasaka; H Ohta; Y Tsukahara; G Kida; E Tsumiyama; K Kusano; T Oba; T Nishizawa; R Kawabe; H Yamakawa; M Amano; H Matsushima; T Takada.

Autoimmune Pulmonary Alveolar Proteinosis Developed During Immunosuppressive Treatment in Polymyositis with Interstitial Lung Disease: a case report
BMC Pulmonary Medicine 20(1): 84, 2020.

堀好寿、黒川允、吉嶺文俊、大橋和政、伊藤竜、高田俊範。

無症状で経過した肺リンパ腫様肉芽腫症の一例。

日呼吸誌 9(5): 365-369, 2020.

T Takada, K Asakawa, R Barrios.

A Japanese-American female with rapidly progressive interstitial lung disease associated with clinically amyopathic dermatomyositis.

Clinical rheumatology 40(3): 1159-1165, 2021.

学会・研究会・講演会

大橋和政、高田俊範、伊藤竜.

片側性の陰影を呈したリウマチ肺の一例.

第 86 回日本呼吸器学会北陸地方会（口演）

（福井（Web），2020 年 10 月 25 日）

研究費（科学研究費）

高田俊範：分担 基盤研究費（C）20K08537 2020～2022 年度

血球吸着モデルを用いた LAM 患者におけるシロリムス最適薬用量決定法の提案

高田俊範：分担 基盤研究費（C）20K08536 2020～2022 年度

肺 MAC 症におけるバイオマーカー CXCL10 の有用性について

論文(原著)

Sugawara S, Morita S, Arai Y, Sone M, Hijioka S, Sakamoto Y.

Radiological assessment for endoscopic ultrasound-guided biliary drainage.

Radiographics 40(3): 667-683, 2020.

Ikarashi S, Kawai H, Hayashi K, Kohisa J, Sato T, Nozawa Y, Morita S, Oka H, Sato M, Aruga Y, Yoshikawa S, Terai S.

Risk factors for walled-off necrosis associated with severe acute pancreatitis: a multicenter retrospective observational study.

J Hepatobiliary Pancreat Sci 27(11): 887-895, 2020.

Yagi K, Tsuchiya A, Hashimoto T, Kato T, Onodera O, Terai S.

Pyloric-gland metaplasia may be an origin of cancer and intestinal metaplasia with possible CDX2 expression.

Gastroenterology Report 10: 1-4, 2020.

Kamimura K, Suda T, Fukuhara Y, Okuda S, Watanabe Y, Yokoo T, Osaki A, Waguri N, Ishikawa T, Sato T, Aoyagi Y, Takamura M, Wakai T, Terai S.

Adipose most abundant 2 protein is a predictive marker for cisplatin sensitivity in cancers.

Sci Rep 11: 6255, 2021.

論文(総説)

八木一芳、寺井崇二.

除菌後胃癌の通常内視鏡および NBI 内視鏡での診断のコツ.

消化器内科 2(3): 31-38, 2020.

八木一芳、寺井崇二.

除菌後胃癌発見のコツ.

消化器内科 2(10): 82-90, 2020.

八木一芳、星隆洋、阿部聡司、森田慎一、須田剛士、寺井崇二.

除菌後発見胃癌の後発見胃癌の好発部位は中間帯である.

臨床消化器内科 35(12): 1444-1449, 2020.

論文(症例報告)

Morita S, Suda T, Kishi Y, Iwasaki T, Hiraoka N, Nagayama I, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Hasegawa G, Ikarashi T, Terai S.

Synchronous Double Bile Duct Cancers with Distinct Genetic Features.

Intern Med 59(17): 2129-2134, 2020.

Morita S, Sugawara S, Suda T, Prasetyo D, Kobayashi Y, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Terai S.

Stent Placement for Malignant Inferior Vena Cava Syndrome in a Patient with Recurrent Colon Cancer.

Intern Med 59(22): 2885-2890, 2020.

Tominaga K, Tsuchiya A, Sato H, Mizusawa T, Morita S, Ishii Y, Takeda N, Natsui K, Kawata Y, Kimura N, Arao Y, Takahashi K, Hayashi K, Yokoyama J, Terai S.

Esophageal Ulcers Associated with Ulcerative Colitis: A Case Series and Literature Review.

Intern Med 59(16): 1983-1989, 2020.

Morita S, Sugawara S, Suda T, Prasetyo D, Hoshi T, Abe S, Yagi K, Terai S.

Transcatheter Arterial Embolization Using Microspheres for Palliating Pain from Bone Metastasis in a Patient with Cholangiocellular Carcinoma.

Intern Med 60(2): 241-246, 2021.

Morita S, Yagi K, Hoshi T, Abe S, Terai S.

Endoscopic retrieval of multiple sewing needles using the tip of a magnetic tube.

Video GIE 24(6): 228-230, 2021.

学会・研究会・講演会

Yagi K.

Gastric cancer arising from *H.pylori* un-infection stomach.

Zunyi Medical College and Niigata University Digestive Early Cancer Conference (教育講演)

(貴州省遵義 (中国), 2020年7月18日)

Yagi K.

The points to diagnose of gastric cancer detected after eradication therapy.

Endoscopy association for early cancer of GI (講演)

(北京 (中国), 2020年11月9日)

Yagi K.

The technique of magnifying endoscopic observation and Gastric cancer after eradication therapy.

Micro-invasive technique, Bowel disease and Prevention and early diagnosis of colorectal neoplasia (教育講演)

(北京 (中国), 2020年11月29日)

八木一芳.

胃幽門腺型腺腫.

第一回札幌拡大内視鏡研究会 (講演)

(札幌市 (Web), 2020年5月15日)

森田慎一.

膵臓癌診療の実践.

第66回日本消化器病学会甲信越地方会 専門医セミナー3 (胆膵) (web, 誌面)

(新潟, 2020年6月6日)

須田剛土.

第66回日本消化器病学会甲信越支部例会 (会長)

(新潟, 2020年6月6日~7日)

須田剛土.

第18回日本消化器病学会甲信越支部専門医セミナー (会長)

(新潟, 2020年6月6日~7日)

須田剛土.

第43回日本消化器病学会甲信越支部教育講演会 (会長)

(新潟, 2020年6月6日~7日)

八木一芳.

実臨床に役立つ胃炎の診断.

第4回会津拡大内視鏡研究会 (講演)

(会津若松, 2020年7月3日)

八木一芳.

胃の腺腫.

Zoom つくば内視鏡研究会 (講演)

(つくば (Web), 2020年7月10日)

八木一芳.

実臨床に役立つ胃炎の診断.

第31回日本消化器内視鏡学会東海セミナー (教育講演)

(名古屋, 2020年7月26日)

八木一芳.

腸上皮化生について および 症例検討.

第5回会津拡大内視鏡研究会 (講演)

(会津若松, 2020年8月7日)

八木一芳、中村厚夫、寺井崇二.

除菌後胃癌における腫瘍表層部組織像の検討.

第106回日本消化器病学会総会 (シンポジウム 8)

(広島, 2020年8月12日)

八木一芳、中村厚夫、寺井崇二.

除菌後発見胃癌診断のポイントの検討.

第 99 回日本消化器内視鏡学会総会 (パネルディスカッション 3)

(京都, 2020 年 9 月 3 日)

森田慎一.

消化器がん診療における IVR.

塩沢医会 講演会 (講演)

(新潟, 2020 年 9 月 9 日)

八木一芳.

ピロリ菌感染下での胃癌と腸上皮化生発生について.

第 4 回札幌拡大内視鏡研究会 (講演)

(札幌, 2020 年 9 月 18 日)

八木一芳.

実臨床に役立つ胃炎の診断.

Nexium Online Symposium in Tsukuba (講演)

(つくば, 2020 年 9 月 25 日)

八木一芳.

胃の腺腫および胃型腺腫、癌との鑑別、癌の合併.

Nexium Online Symposium in Fujieda (講演)

(藤枝, 2020 年 10 月 7 日)

八木一芳.

胃の腺腫と酸関連疾患治療の重要性.

Nexium Online Symposium in Suzuka (講演)

(鈴鹿, 2020 年 10 月 9 日)

阿部聡司、須田剛土、星隆洋、森田慎一、八木一芳、寺井崇二.

両葉での肝硬度測定の意義について.

JDDW2020 (ポスター)

(神戸, 2020 年 11 月 5 日)

阿部聡司、須田剛土、星隆洋、森田慎一、兼藤努、寺井崇二.

BMI 22 未満の非アルコール性脂肪性肝疾患における膵外分泌機能不全の状況とパンクレリパーゼの有効性.

第 43 回日本肝臓学会東部会 (ポスター)

(盛岡, 2020 年 12 月 3 日)

森田慎一.

膵臓がんのいろは.

大鵬薬品工業勉強会 (講演)

(新潟, 2020 年 12 月 7 日)

八木一芳.

酸関連疾患、胃型腺腫、および腸上皮化生と胃癌の発生について.

Nexium Online Symposium in Nagoya (講演)

(名古屋, 2020 年 12 月 14 日)

八木一芳.

胃の腺腫：腸型腺腫と low grade tub1 の鑑別および胃型腺腫の特徴.

Otsuka Online Symposium in Iwate (講演)

(奥州, 2021年1月28日)

八木一芳.

胃の腺腫：腸型腺腫と low grade tub1 の鑑別および胃型腺腫の特徴.

Otsuka Online Symposium in Gifu (講演)

(岐阜, 2021年3月4日)

森田慎一.

高齢化地域中核病院の胃癌診療の実情.

長岡胃癌 web セミナー (講演)

(新潟, 2021年3月16日)

八木一芳.

胃幽門腺型腺腫.

第6回長岡消化器画像研究会 (講演)

(長岡, 2021年3月20日)

八木一芳.

ピロリ菌感染を視点にいた慢性胃炎、胃癌の内視鏡診断.

会津若松市医師会勉強会 (講演)

(会津若松, 2021年3月23日)

森田慎一.

下大静脈症候群の診断と治療.

コスモテック株式会社 第3回 web 講演 (講演)

(新潟, 2021年3月24日)

研究費(科学研究費)

八木一芳：代表 基礎研究 (C) 19K08389 2019～2022年度

胃癌発生腺管の3D組織構築と遺伝子解析からの検討

八木一芳：分担 基礎研究 (C) 19K08462 2019～2022年度

小腸絨毛基底膜における「窓」の脂肪吸収に対する調節機能の解明

受賞

森田慎一：市田賞 (消化器内科)

Antireflux metal stent for initial treatment of malignant distal biliary obstruction.

(新潟大学消化器内科, 2020年6月)

神経内科

論文(総説)

Pellecchia MT, Stankovic I, Fanciulli A, Krismer F, Meissner WG, Palma JA, Panicker JN, Seppi K, Wenning GK; Members of the Movement Disorder Society Multiple System Atrophy Study Group.

Can Autonomic Testing and Imaging Contribute to the Early Diagnosis of Multiple System Atrophy? A Systematic Review and Recommendations by the Movement Disorder Society Multiple System Atrophy Study Group.

Mov Disord Clin Pract 7(7): 750-762, 2020.

小澤鉄太郎.

多系統萎縮症.

生体の科学 71(5): 406-407, 2020.

小澤鉄太郎.

延髄と消化管ペプチド シヌクレイノパチーでの考察.

脳神経内科 93(1): 166-171, 2021.

小澤鉄太郎.

臨床医から見た消化管栄養感知と迷走神経機能.

自律神経 58(1): 140-143, 2021.

著書など

小澤鉄太郎

神経梅毒.

今日の診断指針第8版, 595-596頁, 医学書院, 2020. (補遺)

学会・研究会・講演会

寺島健史

脳神経内科領域におけるボツリヌス治療の概要.

十日町中魚沼郡学術講演会 (講演)

(新潟 (Web), 2021年2月16日)

研究費(科学研究費)

小澤鉄太郎: 代表 基盤研究費 (C) 19K07957 2019-2021年度

シヌクレイノパチー前駆症状に関与する口腔微生物神経毒の定量的検討

研究費(科学研究費)

湯川尊行：代表 若手研究 19K17083 2019-2022 年度

統合失調症患者における脳内へパラン硫酸プロテオグリカンの変化

学会・研究会・講演会

鈴木博.

南魚沼学校検診プロジェクトー学校心臓検診の包括的・経年的評価のためのデータベース作成ー.

第56回日本小児循環器学会学術集会（ポスター）

（京都，2020年11月22日～24日）

論文(原著)

Sudo N, Ichikawa H, Muneoka Y, Hanyu T, Kano Y, Ishikawa T, Hirose Y, Miura K, Shimada Y, Nagahashi M, Sakata J, Kobayashi T, Bamba T, Nakagawa S, Kosugi SI, Wakai T.

Clinical Utility of ypTNM Stage Grouping in the 8th Edition of the American Joint Committee on Cancer TNM Staging System for Esophageal Squamous Cell Carcinoma.

Ann Surg Oncol 28: 650-660, 2020.

論文(症例報告)

Yuza K, Sakata J, Nagaro H, Ando T, Hirose Y, Miura K, Takizawa K, Kobayashi T, Ichikawa H, Hanyu T, Shimada Y, Nagahashi M, Kosugi SI, Wakai T.

A giant pelvic solitary fibrous tumor with Doege-Potter syndrome successfully treated with transcatheter arterial embolization followed by surgical resection: a case report.

Surg Case Rep 6: 299, 2020.

角南栄二、平野謙一郎、佐藤洋、大岩智、森田慎一。

乳癌肝転移巣の自然破裂に対し経カテーテル動脈塞栓術 (TAE) を施行した 1 例。

日腹救医学会誌 40(5): 625-628, 2020.

学会・研究会・講演会

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子、大岩智。

アレルギー性血管浮腫に起因すると考えられた腸重積の 1 例。

第 106 回日本消化器病学会総会 (e ポスター)

(広島, 2020 年 4 月 23 日~25 日)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子。

乳癌肝転移巣の自然破裂に対し肝動脈塞栓術 (TAE) を施行した 1 例。

第 28 回日本乳癌学会学術集会 (e ポスター)

(愛知, 2020 年 7 月 9 日~11 日)

平野謙一郎、角南栄二、佐藤洋、小杉伸一。

絞扼性腸閉塞にたいし術中 ICG 造影を行ない腸管切除を回避し得た 5 症例。

第 56 回日本腹部救急医学会総会 (一般演題)

(名古屋, 2020 年 10 月 8 日)

角南栄二、小杉伸一、平野謙一郎、佐藤洋、高橋元子、大岩智。

盲腸周囲ヘルニアの 1 例。

第 56 回日本腹部救急医学会総会 (e ポスター)

(愛知, 2020 年 10 月 8 日~9 日)

大岩智、平野謙一郎、小杉伸一、角南栄二、佐藤洋、高橋元子。

腹腔鏡下胆嚢摘出術における蛍光胆道造影の有用性の検証。

第 75 回日本消化器外科学会総会（一般演題）

（和歌山，2020 年 12 月 15 日～17 日）

研究費(科学研究費)

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）18K08698 2018～2020 年度

胃癌 DNA 二重鎖損傷修復機構破綻の包括的評価と臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09117 2019～2021 年度

HER2 陽性胃癌における遺伝子異常の包括的評価と臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09165 2019～2021 年度

胃癌マイクロサテライト不安定性評価の検証と薬物治療における臨床的意義の解明

小杉伸一：分担 基盤研究費（C）19K09212 2019～2021 年度

NOTCH シグナルを介した食道癌化学療法奏効性の分子機構の解明

学会・研究会・講演会

渡辺健寛、北原哲彦、吉谷克維、大和靖、古屋敷剛、橋本毅久、斎藤正幸、土田正則、新潟呼吸器外科研究グループ。

臨床病期Ⅰ期腺癌亜分類別のリンパ節転移の解析から縮小手術を考える。

第37回日本呼吸器外科学会学術集会（パネルディスカッション）（東京(Web)，2020年9月29日～10月12日）

橋本毅久。

当科における低肺機能肺癌症例に対する手術。

第8回新潟呼吸器外科手術手技研究会（口演）（新潟，2020年11月21日）

整形外科

学会・研究会・講演会

目良恒、橋本祐介、脇谷滋之。

骨髄細胞による軟骨再生～臨床研究から見えてきたこと～

Cartilage regeneration with Bone marrow stem cells. : lessons from clinical trial and future direction.

第 19 回日本再生医療学会総会（シンポジウム招待講演）（横浜（web），2020 年 5 月 18 日～29 日）

富山泰行、目良恒、大池直樹、穂苅翔、大橋瑠子、土屋淳紀、谷藤理、望月友晴、遠藤直人、寺井崇二。

ラット膝関節軟骨全層欠損モデルにおけるヒト脂肪幹細胞の関節内注入後の局在と軟骨欠損修復効果の検討。

第 19 回日本再生医療学会総会（口演）（横浜（web），2020 年 5 月 18 日～29 日）

白旗正幸、谷藤理。

NPWT を併用した足部に対する術後創治療経験。

第 45 回日本足の外科学会学術集会（口演）（東京（Web），2020 年 11 月 26 日～27 日）

目良恒、若井崇央、谷藤理、望月友晴、川島寛之、生越章。

人工膝関節全置換術(TKA)術前の痛みの破局的思考尺度（pain catastrophizing scale : PCS）は術後期待度の低下率と相関する。

第 13 回日本運動器疼痛学会（口演）（新潟（web），2020 年 11 月 28 日～12 月 25 日）

目良恒、谷藤理、藤田裕、竹内峻。

関節鏡手術で診断に至った膝関節滑膜骨軟骨腫症の 1 例。

第 12 回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会（JOSKAS）（ポスター）（神戸（Web），2020 年 12 月 17 日～19 日）

目良恒。

関節治療における再生医療研究の現状～基礎研究とその出口戦略を考える。

第 6 回新潟オンラインボーンクラブ（NOBC）（口演）（新潟（web），2021 年 1 月 13 日）

目良恒、鄭賢皓、五十嵐哲也、荒引剛、佐野博繁、植木将人、白旗正幸、平野徹、生越章。

人工膝関節全置換術（TKA）における術前の痛みの破局的思考尺度（pain catastrophizing scale : PCS）は術後の期待度の低下と相関する。

第 243 回新潟整形外科学会（口演）（新潟（web），2021 年 3 月 6 日）

目良恒、Thomas J. Kean.

軟骨再分化過程における低酸素分圧の反応は関節軟骨細胞と耳介軟骨細胞で劇的に異なる。

第 20 回日本再生医療学会総会（ポスター）（完全 Web，2021 年 3 月 11 日～5 月 31 日）

研究費(科学研究費)

生越章：代表 基盤研究費 (C) 18K09098 2018～2020 年度

骨軟部腫瘍に対する免疫治療の開発

目良恒：代表 基盤研究費 (C) 18K09021 2018～2020 年度

関節軟骨修復に寄与するマイクロ RNA の探索

目良恒：分担 基盤研究費 (C) 19K05954 2019～2021 年度

リガンド非依存的 GPCR 活性化による破骨細胞の分化・機能制御の機構解明

論文(症例報告)

Yoneoka Y, Aizawa N, Nonomura Y, Ogi M, Seki Y, Akiyama K.

Traumatic Nonmissile Penetrating Transnasal Anterior Skull Base Fracture and Brain Injury with Cerebrospinal Fluid Leak: Intraoperative Leak Detection and an Effective Reconstruction Procedure for a Localized Skull Base Defect Especially After Coronavirus Disease 2019 Outbreak.

World Neurosurg 140: 166-172, 2020.

Yoneoka Y, Akiyama K, Seki Y.

Glass Fragment Injury to the Craniocervical Junction with Interatlantooccipital Penetration to the Subarachnoid Space: Not-To-Be-Missed Important Aspects of Craniocervical Trauma Even in the Middle of the COVID-19 Pandemic: Case Report and Review of Literature.

World Neurosurg 141: 402-405, 2020.

学会・研究会・講演会

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

熊による頭部外傷の特徴。

第 59 回日本脳神経外科学会 東北支部会 (口演)

(Web, 2020 年 9 月 5 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

漏斗部類上皮腫の手術例。

第 25 回日本脳腫瘍の外科学会 (口演)

(名古屋 (Web), 2020 年 9 月 11 日～12 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

漏斗部類上皮腫の手術例。

第 21 回日本内分泌学会 関東甲信越支部学術集会 (口演)

(Web, 2020 年 9 月 18 日～19 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

Fat-on-fascia graft を用いた頭蓋底再建法。

第 79 回日本脳神経外科学会学術集会 (口演)

(岡山 (Web), 2020 年 10 月 15 日～17 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

下垂体漏斗部類上皮腫の経鼻内視鏡下摘出後の Vasopressin-analogue 抵抗性多尿。

第 27 回日本神経内視鏡学会 (口演)

(和歌山 (Web), 2020 年 11 月 5 日～6 日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

下垂体漏斗部類上皮腫の手術および周術期管理。

第30回臨床内分泌代謝 Update (口演)

(東京 (Web), 2020年11月13日~14日)

米岡有一郎、関泰弘、秋山克彦。

熊による頭部外傷の特徴。

第43回日本脳神経外傷学会 (口演)

(誌上, 2020年3月6日~7日) 補遺

論文(原著)

Hasegawa M, Inoue Y, Kaneko S, Kanoh H, Shintani Y, Tsujita J, Fujita H, Motegi S, Pavoux AL, Asai J, Asano Y, Abe M, Amano M, Ikegami R, Ishii T, Isei T, Isogai Z, Ito T, Irisawa R, Iwata Y, Otsuka M, Omoto Y, Kato H, Kadono T, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koga M, koder M, SAKAI K, Sakurai E, Sarayama Y, Tanioka M, Tanizaki H, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hayashi M, Hirosaki K, Fujimoto M, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Tachibana T, Ihn H.

Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 1: Guidelines for wounds in general, second edition

J Dermatol 47(8): 807-833, 2020.

Fujiwara H, Isogai Z, Irisawa R, Otsuka M, Kadono T, Koga M, Hirosaki K, Asai J, Asano Y, Abe M, Amano M, Ikegami R, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Iwata Y, Omoto Y, Kato H, Kaneko S, Kanoh H, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koder M, Sakai K, Sakurai E, Sarayama Y, Shintani Y, Tanioka M, Tanizaki H, Tsujita J, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Fujita H, Fujimoto M, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Motegi S, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Pavoux AL, Tachibana T, Ihn H.

Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 2: Guidelines for the diagnosis and treatment of pressure ulcers, second edition

J Dermatol 47(9): 929-978, 2020.

Fujimoto M, Asai J, Asano Y, Ishii T, Iwata Y, Kawakami T, Koder M, Abe M, Amano M, Ikegami R, Isei T, Isogai Z, Ito T, Inoue Y, Irisawa R, Ohtsuka M, Omoto Y, Kato H, Kadono T, Kaneko S, Kanoh H, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koga M, Sakai K, Sakurai E, Sarayama Y, Shintani Y, Tanioka M, Tanizaki H, Tsujita J, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Hirosaki K, Fujita H, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Motegi S, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Pavoux AJL, Tachibana T, Ihn H.

Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 4: Guidelines for the management of connective tissue disease/vasculitis-associated skin ulcers

J Dermatol 47(10): 1071-1109, 2020.

Yoshino Y, Hashimoto A, Ikegami R, Irisawa R, Kanoh H, Sakurai E, Nakanishi T, Maekawa T, Tachibana T, Amano M, Hayashi M, Ishii T, Iwata Y, Kawakami T, Sarayama Y, Hasegawa M, Matsuo K, Ihn H, Omoto Y, Madokoro N, Isei T, Otsuka M, Kukino R, Shintani Y, Hirosaki K, Motegi S, Kawaguchi M, Asai J, Isogai Z, Kato H, Kono T, Tanioka M, Fujita H, Yatsushiro H, Sakai K, Asano Y, Ito T, Kadono T, Koga M, Tanizaki H, Fujimoto M, Yamasaki O, Doi N, Abe M, Inoue Y, Kaneko S, Koder M, Tsujita J, Fujiwara H, Pavoux A.

Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 6: Guidelines for the management of burns, second edition

J Dermatol 47(11): 1207-1235, 2020.

論文(総説)

藤原浩.

皮膚粗鬆症・スキンテア.

WOC Nursing 18(5): 2-28, 2020.

藤原浩.

ガイドラインからみた褥瘡の局所療法.

皮膚病診療 42(11): 946-951, 2020.

論文(症例報告)

Ansai O, Shinkuma S, Hayashi R, Tomii K, Deguchi T, Aizawa A, Fujiwara H, Shimomura Y, Abe R.

Functional analysis of keratin filament network formation indicates clinical severity of epidermolysis bullosa simplex.

J Eur Acad Dermatol 34(10): e613-e616, 2020.

学会・研究会・講演会

入澤亮吉、藤原浩、門野岳史、大塚正樹、磯貝善蔵、廣崎邦紀、古賀文二.

創傷、褥瘡、熱傷 専門医に欠かせないガイドラインの知識.

第 119 回日本皮膚科学会総会 (講演)

(Web, 2020 年 6 月 6 日)

勝海洸司、木村浄土、藤原浩、長谷川剛.

毛虫皮膚炎(毒蛾皮膚炎)の臨床像、組織像、病態.

第 399 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2020 年 9 月 19 日)

勝海洸司、木村浄土、藤原浩、関義信、長谷川剛、浅田一幸.

芽球形質細胞様樹状細胞腫瘍 (blastic plasmacytoid dendritic cell neoplasm) の 1 例.

第 400 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2020 年 12 月 5 日)

勝海洸司、木村浄土、藤原浩、長谷川剛.

papular elastosis の 1 例.

第 401 回日本皮膚科学会新潟地方会 (講演)

(新潟, 2021 年 3 月 7 日)

論文(原著)

Kasahara T, Ishizaki F, Kazama A, Yuki E, Yamana K, Maruyama R, Oshikane T, Kaidu M, Aoyama H, Bilim V, Nishiyama T, Tomita Y.

High-dose-rate brachytherapy and hypofractionated external beam radiotherapy combined with long-term androgen deprivation therapy for very high-risk prostate cancer.

Int J Urol 27(9): 800-806, 2020.

論文(症例報告)

Murata M, Inui K, Nagano O, Hasegawa G, Ikeda Y, Seki Y, Nakagawa Y, Hasegawa M, Hara N, Nishiyama T.

Granulocytic/myeloid sarcoma with trisomy 21 presented as an epididymal tumor: A case report and review of the literature.

SAGE Open Med Case Rep 8: 2050313X20919228., 2020.

Hasegawa M, Hasegawa G, Ikeda Y, Hara N, Nishiyama T.

Emergence of undifferentiated urothelial carcinoma after pembrolizumab treatment for patient with invasive urothelial bladder cancer: A case report

SAGE Open Med Case Rep 8: 2050313X20932694., 2020.

Murata M, Hasegawa G, Inui K, Ikeda Y, Hasegawa M, Hara N, Nakagawa Y, Nishiyama T.

Urothelial carcinoma with sarcomatoid/osteosarcoma variant of the bladder: A case report

SAGE Open Med Case Rep 8: 2050313X20927615., 2020.

Watanabe K, Hasegawa G, Kashima K, Sato Y, Hara N, Nishiyama T.

Primary malignant melanoma of the female urethra: A case report.

Urol Case Rep 34: 101493, 2020.

著書など

相澤直孝

姿勢と睡眠呼吸障害.

小児の睡眠呼吸障害マニュアル第2版, 63-67頁, 全日本病院出版会, 2020.

学会・研究会・講演会

川浪孝介、相澤直孝.

血管収縮剤による頭痛改善より判明した鼻粘膜接触点頭痛の1例.

第90回日耳鼻新潟県地方部会学術講演会（口演）

（新潟市, 2020年12月19日）

川浪孝介、相澤直孝.

ejnell 法術後再狭窄症例の検討.

第82回耳鼻咽喉科臨床学会学術講演会（口演）

（京都, 2020年12月24日～25日）

相澤直孝.

睡眠時呼吸障害診療の実際.

十日町市中魚沼郡学術講演会（講演）

（十日町, 2021年2月16日）

研究費(科学研究費)

甲斐竜太：代表 若手研究 20K10448 2020～2022年度

全脳透明化技術 CUBIC を用いた前庭破壊マウスの皮質活動解析

学会・研究会・講演会

山田大輔、川浪真里、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、鈴木美奈、風間芳樹。

胎児貧血に至った抗 Jra 抗体陽性妊娠の一例。

令和 2 年新潟大学医学部産科婦人科学教室同窓会総会・集談会（口演）

（新潟，2020 年 12 月 19 日）

川浪真里、鈴木美奈、山田大輔、甲田有嘉子、吉田邦彦、佐藤ひとみ、加嶋克則、風間芳樹。

産褥に発症した巨大漿膜下子宮筋腫茎捻転の 1 例。

第 36 回新潟産科婦人科手術・内視鏡下手術研究会（口演）

（新潟，2021 年 2 月 13 日）

研究費(科学研究費)

加嶋克則：分担 基盤研究費（C）20K10448 2020～2022 年度

子宮内胎児発育不全の発症予防を目的とした遺伝子多型と嗜好品摂取との相互作用解析

学会・研究会・講演会

川口弦

豪雪地帯の南魚沼市における SyncTraX FX4 の運用.

第 33 回日本放射線腫瘍学会学術大会 (ワークショップ 4)

(札幌 (Web), 2020 年 10 月 1 日~3 日)

研究費(科学研究費)

川口弦 : 代表 若手研究 18K15626 2018~2021 年度

革新的動体追跡放射線治療に向けたクリップマーカーの開発および臨床応用

論文(原著)

K Furutani, T Watanabe, K Matsuda, Y Kamiya, H Baba.

SUZYTM forceps facilitate nasogastric tube insertion under McGRATHTM MAC videolaryngoscopic guidance:
A randomized, controlled trial.
Medicine 99(41): e22545, 2020.

論文(症例報告)

T Watanabe, K Moriya, H Baba.

Quadratus lumborum block type 2 for pedicle groin flap analgesia: a case report
JA Clinical Reports 6: 1-3, 2020.

学会・研究会・講演会

渡部達範

手の外科手術における腕神経叢ブロックの利用法.

日本臨床麻酔学会第40回大会(ランチョンセミナー)

(Web, 2020年11月6日～12月14日)

渡部達範

リハビリを意識した末梢神経ブロック.

群馬ペインクリニック懇話会(講演)

(前橋, 2020年11月28日)

研究費(科学研究費)

渡部達範: 分担 基盤研究費(B) 20H03775 2020～2022年度

なぜ神経障害性疼痛は傷害された末梢神経の支配領域を超えて広がるのか?

論文(原著)

倉部華奈、隅田好美、小島拓、加藤祐介、齋藤功、小林正治.

外科的矯正治療による顎変形症患者の心理・社会的変化の過程:グラウンデッド・セオリー・アプローチによる解析.
日本口腔外科学会雑誌 66(4): 178-187, 2020.

小島拓、倉部華奈、加藤祐介、長谷部大地、齋藤功、小林正治.

顎変形症患者における外科的矯正治療後アンケート調査.
新潟歯学会誌 50(2): 9-16, 2020.

論文(症例報告)

Yusuke Kato, Daisuke Saito, Daisuke Suda, Naoaki Saito, Daichi Hasebe, Kanae Niimi, Wataru Katagiri, Tadaharu Kobayashi.

Orthognathic surgery for patients with venous thromboembolism during treatment: Two case reports.
J Oral Maxillofac Surg Med Pathol 32(6): 462-465, 2020.

学会・研究会・講演会

Yusuke Kato, Naoaki Saito, Kanae Niimi, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Daichi Hasebe, Wataru Katagiri, Tadaharu Kobayashi.

Evaluation of ultrasonic orthognathic surgery with serrated aggressive knife tip of an ultrasonic bone cutting device: comparison with conventional surgery using powered instruments.

The 59th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons (ポスター)
(韓国 (Web), 2020年10月29日~31日)

加納浩之、小林正治、福井忠雄、澤秀一郎.

斜頸を伴う顔面非対称患者に対して外科的矯正治療を行った1例.

第30回日本顎変形症学会総会・学術大会 (ポスター) (新潟 (Web), 2020年6月24日~7月9日)

長谷部大地、高橋功次朗、遠藤諭、竹内奈苗、羽賀健太、荻野奈保子、竹内涼子、原太一、加藤祐介、齋藤大輔、丹原惇、新美奏恵、片桐渉、齋藤功、小林正治.

日本人における Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) の有用性についての検討.

第30回日本顎変形症学会総会・学術大会 (口演) (新潟 (Web), 2020年6月24日~7月9日)

加藤祐介、齋藤直朗、新美奏恵、佐久間英伸、長谷部大地、齋藤大輔、丹原惇、齋藤功、小林正治.

超音波切削器を用いた顎矯正手術における Serrated aggressive knife チップの有用性.

第 30 回日本顎変形症学会総会・学術大会（ポスター）

（新潟（Web），2020 年 6 月 24 日～7 月 9 日）

加納浩之.

病診連携の強化に向けて～睡眠時無呼吸症候群・周術期口腔機能管理～

小千谷北魚沼歯科医師会 医療管理講演会（口演）

（新潟，2020 年 10 月 28 日）

遠藤諭、加藤祐介、原太一、須田大亮、長谷部大地、佐久間英伸、齋藤大輔、齋藤直朗、新美奏恵、西山秀昌、片桐渉、林孝文、齋藤功、小林正治.

外科的矯正治療にともなう顎関節症状と下顎頭形態の変化.

新潟歯学会（口演）

（新潟，2020 年 11 月 7 日）

受賞

加藤祐介：Outstanding Poster Presentation Award

Evaluation of ultrasonic orthognathic surgery with serrated aggressive knife tip of an ultrasonic bone cutting device:comparison with conventional surgery using powered instruments.

（The 59th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, 2020 年 10 月）

研究費(科学研究費)

長谷川剛：分担 基盤研究費（C）20K09860 2020～2022 年度

抗ストレス薬は糖尿病患者の創傷治癒を促進するか？

著書など

目崎恵

current Knowledge for ICT 外部委託職員と協働しよう！環境衛生のポイント.
INFECTION CONTROL, 80 - 83 頁, メディカ出版, 2020.

目崎恵

冬の感染症シーズンに備えよう！水回りチェックブック「手洗い場&シンク」.
INFECTION CONTROL, 45-49 頁, メディカ出版, 2020.

目崎恵

標準予防策のトレンド 環境管理、リネンの取り扱い.
感染対策 ICT ジャーナル, 40 - 46 頁, ヴァンメディカル, 2021.

学会・研究会・講演会

関口陽子、寺口敦、高村誠、今成拓、矢吹剛、南場信人、貝瀬真由美、原昇、西山勉。

アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤使用患者における休薬と副作用発現状況の調査。

第30回日本医療薬学会年会（ポスター）

（Web，2020年10月24日～11月1日）

山田宜和、岩田真子、高村誠、貝瀬真由美、藤原浩。

調剤時の説明書添付基準の設定による調剤業務への影響について。

第30回日本医療薬学会年会（ポスター）

（Web，2020年10月24日～11月1日）

岩田真子、山田宜和、山岸宏和、五十嵐詠美、鈴木さくら、寺口敦、種村瞭、貝瀬真由美、伊藤竜。

セファゾリン供給停止に伴う当院の対応とその検証。

第30回日本医療薬学会年会（ポスター）

（Web，2020年10月24日～11月1日）

南場信人、今成拓、関口陽子、山田宜和、矢吹剛、五十嵐詠美、小森裕、勝又稔、山田竜、甲田亮、伊藤竜、貝瀬真由美。

ペンタミジンイセチオン酸塩吸入の実施状況調査とマニュアル作成に向けた取り組み。

第30回日本医療薬学会年会（ポスター）

（Web，2020年10月24日～11月1日）

学会・研究会・講演会

桑原亮太、棚邊哲史、栗林俊輝、捧俊和、梅津修、宇都宮悟、皆川有弘、井開章博、上村直史、佐藤豊、金子隼汰、池田紀子、高頭浩正、川口弦。

椎体骨転移緩和照射における SmartAligner を用いた位置照合精度評価。

第 33 回日本放射線腫瘍学会学術大会（口述）

（Web, 2020 年 10 月 1 日～3 日）

臨床検査科

論文(総説)

井口啓太、久保野勝男、小林徹、林美佳子、柴田真由美、高橋一哲、阿部拓也、藤井豊、池上喜久夫、長濱大輔.

臨床検査業務における専門領域以外の検査実施に対する要員教育～尿沈渣検査における2種類の教育方法を比較検証して～
生物試料分析 44(1&2): 26-33, 2021.

学会・研究会・講演会

井口啓太、横内ゆいり、加藤瑞樹、小林徹、関義信.

当院における骨髄癌腫症例の検討.

第21日本検査血液学術集会(抄録記載)

(金沢, 2020年7月11日～12日)

井口啓太、柴田真由美、小池敦、久保野勝男、藤井豊、池上喜久夫、長濱大輔.

尿沈渣における要員教育と内部精度管理による効果の検証.

第69回日本医学検査学会(口述)

(千葉(Web), 2020年9月5日～6日)

坂西清、杉山貴大、小池敦.

地域内薬剤耐性率低減へ向けた取組み — 院内感染対策合同カンファレンスを活用して —

第69回日本医学検査学会(口述)

(千葉(Web), 2020年9月5日～6日)

坂西清.

新潟県中越地震経験と現状.

第69回日本医学検査学会(講演)

(千葉(Web), 2020年9月5日～6日)

受賞

坂西清: 椿 精一 賞

造血器腫瘍に対する化学療法中のFNでのプレセプシンの動態(第1報).

(北里大学保健衛生専門学院, 2020年11月)

論文(原著)

Yoichi Sato, Jiahe Qiu, Takahiro Miura, Masahiro Kohzuki, Osamu Ito.

Effects of Long-Term Exercise on Liver Cyst in Polycystic Liver Disease Model Rats.

Med Sci Sports Exerc 52(6): 1272-1279, 2020.

Takafumi Abe, Kentaro Iwata, Yoshihiro Yoshimura, Atsuhiko Tsubaki.

Low Muscle Mass is Associated with Walking Function in Patients with Acute Ischemic Stroke.

Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 29(11): 105259, 2020.

Yoichi Sato, Noriaki Iino.

Snow removal maintained a high level of physical activity in patients undergoing hemodialysis in heavy snowfall areas.

Renal Replacement Therapy 7:11, 2021.

Yoichi Sato, Yoshihiro Yoshimura, Takafumi Abe.

Nutrition in the First Week after Stroke Is Associated with Discharge to Home.

Nutrients 13(3): 943, 2021.

学会・研究会・講演会

今井遼太.

慢性心不全の評価とリスク管理.

小出病院リハビリテーション科心不全勉強会 (口述)

(魚沼市, 2020年4月3日)

関悟、若井崇央.

筋萎縮性側索硬化症の生活支援ツールとしてのスマートスピーカー導入の試み.

第54回日本作業療法学会 (ポスター)

(Webのみ, 2020年9月25日~10月25日)

今井遼太.

循環器疾患の理学療法の基礎.

令和2年度理学療法士講習会 (口述)

(Webのみ, 2021年2月23日)

佐藤陽一、今井遼太.

豪雪地帯における雪かきの有無が身体活動量に与える影響.

第11回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (口頭)

(Webのみ, 2021年3月20日~21日)

研究費(その他)

佐藤陽一：宮城県腎臓協会研究助成 2018～2020 年度

多発性嚢胞腎の腎病変及び肝病変に対する運動療法の機序解明.

学会・研究会・講演会

篠原未希.

当院における献立作成・給食管理.

高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科（講義）

（web, 2020年9月1日）

篠原未希.

食物アレルギーにおける献立作成・給食管理.

高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科（講義）

（web, 2020年9月8日）

本田恵理.

チーム医療における管理栄養士の役割とは何か？～循環器チームの多職種連携の取り組み～

高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科（講義）

（web, 2020年9月15日）

本田恵理.

高齢糖尿病患者の退院支援～入院から在宅までシームレスな栄養管理の為に重要と考えること～

高崎健康福祉大学健康福祉学部健康栄養学科（講義）

（web, 2020年9月22日）

看護部

高野久美子、北本美幸、山崎澄枝、内田亜由美、井口花菜、渡辺真由美、泉沢雅子.

迅速なフィードバックと結果の可視化をめざした PNS 監査.

医療安全管理室

星野靖、山田宜和、今井直美、山田尚史、井口啓太、藤原浩.

インシデントレポート「レベル0」から見えるもの - Safety I から Safety II へ -

地域医療部 (患者サポートセンター)

今成洋彰、須田剛士、星洋子、大口陽子、篠原未希、大塚佳子、駒形玲子、櫻井綾子、原澤美由紀.

患者基本情報の一元化とその活用.

薬剤部

関口陽子、寺口敦、高村誠、今成拓、矢吹剛、南場信人、貝瀬真由美、原昇、西山勉.

アミノレブリン酸塩酸塩顆粒剤使用患者における休薬と副作用発現状況の調査.

薬剤部

山田宜和、岩田真子、高村誠、貝瀬真由美、藤原浩.

調剤時の説明書添付基準の設定による調剤業務への影響について.

薬剤部

南場信人、山田竜、勝又稔、阿部圭子、今成拓、関口陽子、山田宜和、矢吹剛、五十嵐詠美、小森裕、貝瀬真由美、甲田亮、伊藤竜、関義信.

ペンタミジンイセチオン酸塩吸入の実施状況調査とマニュアル作成に向けた取り組み.

薬剤部

仁谷美希、岩田真子、五十嵐詠美、山岸宏和、鈴木さくら、高村誠、種村瞭、貝瀬真由美、寺島健史.

返品薬品の状況についての調査.

薬剤部

岩田真子、山田宜和、山岸宏和、五十嵐詠美、鈴木さくら、寺口敦、種村瞭、貝瀬真由美、伊藤竜.

セファゾリン供給停止に伴う当院の対応とその検証.

放射線技術科

栗林俊輝、桑原亮太、高頭浩正、川口弦.

動体追跡放射線治療の高線量率化に向けた検証 ～治療時間の短縮を目指して～

放射線技術科

桑原亮太、栗林俊輝、高頭浩正、川口弦.

放射線治療装置の出力線量測定（第三者評価）に関する取り組み.

放射線技術科

高頭浩正、國井正之、上村直史.

リニアック室の入退室管理システム運用について.

臨床検査科

坂西清、杉山貴大、小池敦、柴田真由美、長谷川剛.

新型コロナウイルス PCR 測定法の比較検討.

臨床検査科

横内ゆいり、加藤瑞希、小林徹、井口啓太、柴田真由美、関義信.

骨髄穿刺を契機に発見された骨髄癌腫症の一例.

臨床検査科

阿部美香、丸山菜々子、大野仁子、澁谷大輔、柴田真由美、長谷川剛.

胸水中に出現する悪性細胞の原発巣推定へのアプローチ.

臨床検査科

石黒杏佳、山倉貴大、馬場満、柴田真由美、関義信.

冷蔵保存状態における血清検体の安定性検証.

臨床検査科

井口啓太、林美佳子、柴田真由美、関義信.

尿沈渣のスタッフ教育における検討.

リハビリテーション技術科

佐藤陽一、今井遼太、常山智佳、水澤忠徳、飯野則昭.

外来血液透析患者に対するリハビリテーションは身体機能や QOL を改善する.

リハビリテーション技術科

阿部貴文、今井遼太、大口陽子、佐藤陽一、小林仁美、大津友樹、坂大朝光、米岡有一郎.

脳卒中患者に対する体組成評価の取り組み.

リハビリテーション技術科

近藤はるな、若井崇央、岩渕友紀、中島蘭、佐藤将史、井佐龍太郎、目黒楓也、飯塚真由美、濱崎幸子、目良恒、生越章.

人工膝関節全置換術と高位脛骨骨切り術の術後疼痛の特徴と経時的変化についての比較.

臨床工学科

遠藤義幸、木曾匡、今井南、本間竜海、大平洋介、勝又稔、若杉正嗣、平野徹.

腰椎椎弓根スクリー挿入術におけるスクリー電気刺激誘発筋電図の有用性.

院内研修会

<看護補助者サポート委員会>

目崎恵、星野靖、高橋初美.

看護補助者採用時研修

(2020年4月6日)

森山邦子、佐藤央子、中島美華、原澤洋子、星野倫代、川崎幸子、高橋初美、佐藤一喜.

ナースのための看護補助者伝達研修

(2020年9月1日～10月)

目崎恵、星野靖、高橋初美.

看護補助業務従事者研修

(2020年10月28日他)

小倉加代子、佐藤一貴.

看護補助業務従事者トピックス研修

(2021年1月21日他)

<認定看護師会>

廣野純子.

おむつ交換会

(2020年4月8日)

青木瞳.

放射線治療の基本

(2020年7月22日)

入田貴子.

フィジカルアセスメント

(2020年8月25日)

小川るり子.

がん化学療法看護 基礎編

(2020年8月26日)

小川るり子、青木瞳.

化学療法による皮膚炎と放射性皮膚炎

(2020年9月23日)

勝又尚美、清水睦美.

排泄ケアを考える.

(2020年12月23日)

廣野純子、清水睦美.
ストーマケア (2021年1月14日)

<褥瘡委員会>

廣野純子、清水睦美.
創傷リンクナース研修①皮膚の基礎知識・スキンケア方法 (2020年9月10日)

近藤はるな.
創傷リンクナース研修②耐圧分散寝具の選択と使用方法 (2020年9月24日)

廣野純子、清水睦美.
創傷リンクナース研修③創傷治癒過程・基礎疾患との関係 (2020年10月8日)

廣野純子、清水睦美.
創傷リンクナース研修④創傷ケア用品の選択 (2020年10月22日)

廣野純子、清水睦美.
創傷リンクナース研修⑤DESIGN-Rについて (2021年2月4日)

廣野純子、清水睦美.
創傷リンクナース研修⑥症例検討・まとめ、終了試験 (2021年2月25日)

<看護記録委員会>

齋藤将太郎、小幡ゆかり、櫻井まゆみ、関美恵、井口和美. (2020年9月24、30日 10月8、13日)

<認知症ケアワーキング(看護部)>

坪谷隆介.
認知症とせん妄の症候学 (2020年12月2日)

柳沢好美、岡村さやか.
認知症の対応を知ろう！ (2021年1月8日)

<がん化学療法委員会>

小川るり子.
がん化学療法看護「基礎編①」 (2020年12月22日)

小川るり子.
がん化学療法看護「基礎編②」 (2021年1月15日)

<DM療養指導チーム(看護部)>

関八重子.
糖尿病の理解・血糖測定 (2020年4月16日)

<救命救急センター学習会>

今井遼太、関悟、渡辺慶大.
褥瘡予防のための体位変換とポジショニング 看護師との連携 (2020年8月21日)

<入退院支援委員会>

今成洋彰、櫻井綾子、小林ひとみ、坂内典子、山田百恵. (2021年1月19日, 20日, 21日, 26日, 28日)
入退院支援説明

<院内感染対策研修会>

阿部聡司.
食中毒について (第1回 2020年7月29日)

小嶋絹子.
今流行している『百日咳』って知ってますか?食中毒について (第1回 2020年7月29日)

坂西清.
細菌のおはなし (第2回 2020年9月29日)

岩田真子.
抗菌薬のおはなし (第2回 2020年9月29日)

伊藤竜.
COVID-19について (第3回 2020年11月6日)

目崎恵.
医療従事者としてコロナウイルスと上手につきあいましょう (第3回 2020年11月6日)

目崎恵.

県内における入院調整について ～陽性がわかってから入院までってどういう流れ?～

(第4回 2021年2月10日)

坂西清.

新型コロナウイルスの検査について ～PCR、抗原、抗体の違いって何?～

(第4回 2021年2月10日)

伊藤竜.

当院での COVID-19 入院症例

(第4回 2021年2月10日)

岩田真子.

抗菌薬適正使用について ～院内抗菌薬適正使用マニュアルがあることを知っていますか～

(第5回 2021年3月26日)

Annals of Uonuma Kikan Byoin

VOL.5

発行者 病院長 鈴木 榮一
教育センター長 高田 俊範

発行 2021年10月15日

発行所 一般財団法人新潟県地域医療推進機構
魚沼基幹病院
〒949-7302 新潟県南魚沼市浦佐4132
TEL 025-777-3200
FAX 025-777-2811
<https://www.uonuma-kan-hospital.jp/>

編集担当 総務課総務係 米山 良英
※電子データが必要な場合は、編集担当までご連絡ください。



新潟大学地域医療教育センター
魚沼基幹病院